

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：1月第3週目）

- 1 ハラレの水道サービスが民営化へ
- 2 5億3,300万米ドルに増加した外貨準備が、ZiGの信頼性を高める
- 3 国連はジンバブエの成長率を2.3%と予測
- 4 2024年のタバコ輸出収入は13億9,000万米ドル、前年比13%増

1 ハラレの水道サービスが民営化へ

9日、ハラレで、地方行政・公共事業省、ハラレ市、杭州レイソン・テクノロジー社（Hangzhou Laison Technology Company）、ヘルクロー・エレクトリカル社（Helcraw Electrical）が、ハラレに新しい水処理場とスマートメーターを導入し、住民への水道サービスを改善する契約に署名した。調印式で、ガルウェ地方行政・公共事業は、政府は全国で水道供給網を強化することに尽力していると述べた。また、新技術の導入は水道料金上昇の懸念を引き起こすかもしれないが、実際には配水コストを下げることで、手頃な価格を目指していると述べた。（10日付ヘラルド紙1面）

2 5億3,300万米ドルに増加した外貨準備が、ZiGの信頼性を高める

外貨と金を含む外貨準備高は5億3,300万米ドルに増加した。外貨準備にはジンバブエ中央銀行（RBZ）の金庫に保管されている2億2,800万米ドル相当の金2.67トンが含まれており、外貨準備の総額は、流通しているZiGの3倍以上にのぼる。なお、2024年4月5日にZiGが発行されたとき、RBZは約1.5トンの金を保有していた。RBZは、ZiGの価値を持続的に安定化するために必要な輸入カバーの水準に達するまで、外貨準備を段階的に積み上げ続けると述べている。（12日付サンデーメール紙1面）

3 国連はジンバブエの成長率を2.3%と予測

国連の世界経済情勢・見通し報告書（World Economic Situation and Prospects Report）によると、ジンバブエ経済は今年2.3%成長すると予測されており、2024年に予測される2.4%をわずかに下回る。この予測は、2024/25年の農業シーズンが好調に推移するとの見通し、重要なセクターへの投資増加、コモディティの国際価格の好調により、政府が今年の成長率を6%と予想していることを受けて発表された。同報告書は、世界各地での地政学的紛争、貿易摩擦の高まり、借入コストの上昇などから生じるリスクにより、不確実性が依然として大きいことを強調した。（16日付ファイナンシャル・ガゼット紙5面）（当館注：世界銀行の予測は6.2%）

4 2024年のタバコ輸出収入は13億9,000万米ドル、前年比13%増

タバコ産業マーケティング委員会（TIMB）によると、ジンバブエのタバコ輸出収入は2023年の12億3,000万米ドルから2024年には13億9,000万米ドルに達し、2年連続

で 10 億米ドルの水準を超えた。この増加は、世界的な価格上昇とジンバブエのタバコ生産農家の増加によって牽引された。タバコ価格の上昇により農家の関心がさらに高まっており、今シーズンの種子販売は 30%増加した。2024/25 年の作付けシーズンの降雨量は平年並みかそれを上回ると予想されており、楽観論はさらに高まっている。(16 日付ニュースデイ紙 3 面)